

取扱説明書



電動介護ムーブリフト TB-1400

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。ここに示した事項は安全にお使いいただくことにより、事故を未然に防止するためのものです。

区分	危険や損害の大きさと切迫の度合い
警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定されます。

警告	リフトを使用する前には必ず取扱説明書をよく読んでください。誤った使い方をすると、重大な事故につながる恐れがあります。
	スリングシートは対象者の身長に合った物をお使いください。大きすぎると落下の恐れ、小さすぎると過度の圧迫を与える恐れがあります。
	リフトを使用する前には、医師・理学療法士・作業療法士などに必ずご相談ください。対象者の身体状況によっては、症状が悪化する恐れがあります。
	操作は必ず介助者が行ってください。また対象者を吊り上げている間はそばを離れないようにしてください。
	対象者の身体に何か異変があった場合は、直ちに使用を中止し、医師の診断を受けてください。
	150kg以上の荷重をかけないでください。事故や破損の原因になります。
	使用前・使用後に必ず点検を行ってください。少しでも違和感を感じた場合は直ちに使用を中止してください。
	リフトを操作する前に、ストラップがリフトのハンガーに正しく掛かっている事を確認してください。ストラップが外れ、対象者が転落する恐れがあります。
	リフトの操作前・操作中はまわりの人の身体や手足、障害物が無いか十分注意してください。何かに引っかかった状態で操作すると、けがや破損の恐れがあります。
	対象者を吊り上げた状態で、ストラップの脱着は絶対に行わないでください。重大な事故につながる恐れがあります。
	対象者が車イスの座面やベッド等しっかりと着地していることを確認してから、ストラップを外してください。重大な事故につながる恐れがあります。
	リフトに酸性やアルカリ性の洗剤、漂白剤をかけたり、火気に近づけないでください。変質・変形・火災などの原因となります。
	改造や修理は絶対にしないでください。事故・けがの原因となります。
	リフトの移動は、ハンドルを持って移動させてください。ハンドル以外の所を持って移動すると、バランスが崩れ、転倒する恐れがあります。
	リフトは必ず平らでしっかりした床の上で使用してください。段差や傾いた場所、絨毯などの柔らかい場所で使用すると転倒や移動できなくなる恐れがあります。
電源プラグは確実に根元まで差し込んでください。差し込みが不完全だとショートや発熱により発火の原因となります。	
使用しないときは電源プラグを抜いてください。不用意な操作で思わぬ事故が起きたり、絶縁劣化による漏電火災の原因となります。	
電源コードやプラグは傷んだ状態で使用しないでください。感電や発火の原因となります。	
電源プラグを抜くときはコードを持たずに、電源プラグを持って引き抜いてください。電源コードが破損し感電や発火の原因となります。	
リフトは電気機器を使用していますので、水をかけたりしないでください。故障や感電の恐れがあります。	
スリングシートの取り扱いについては、ご使用になるスリングシートの取扱説明書をよくお読みください。	

介助者はリフトの操作を十分に練習してから、リフトを使用してください。

リフトの用途以外には使わないでください。事故や破損の原因になります。

リフト操作中に対象者がずり落ちそうになったり、痛みや不安を訴えたりする時にはリフトの使用を中止してください。

リフトを移動させる際、対象者の手足がまわりの物にぶつからないよう十分にご注意ください。

対象者を吊り上げた状態で、長時間・長距離の移動には使用しないでください。ベッドから車イスへの移乗等、短時間の移動のみに使用してください。

電源コードや手元スイッチのコードの上に物を置かないでください。コードがきずついて、断線、ショートによる感電や発火の原因になります。

使用前に各部が正常かつ安全に作動することをご確認ください。



ゆるみ、がたつき、傾き、音等に常に注意して、点検を行ってください。また少しでも違和感を感じたときはご使用を中止してください。

コードで脚を引っかけないようにご注意ください。

昇降を連続して使用するとモーターが加熱してきます。2分以上連続で作動させないでください。

手元スイッチは押し間違いの無いように、十分注意して操作を行ってください。操作を行う人は回りに十分注意を払い、言葉を掛けてからリフトの操作を行ってください。

ご使用中に異常な揺れが発生したら、使用を中止し、各部の締め付けボルトの再点検を行ってください。又、改善されない場合は、ご購入代理店にご相談ください。

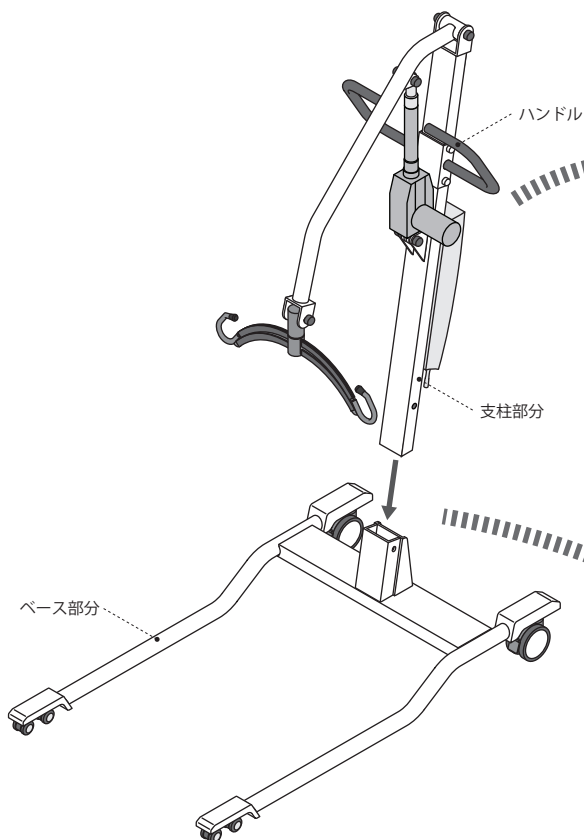
通常、キャスターは常温、構内で使用される事を想定しております。高温、低温、多湿、酸、アルカリ、塩分、溶剤、油、海水、薬品等の影響を受ける特別な環境での使用は避けてください。製品の劣化が進む恐れがあります。やむをえず、ご使用になる場合は個々の用途に合わせた金具、車輪、グリスが必要です。尚、材質により床面に汚染の恐れがあります。

キャスターは消耗品のため、劣化、破損等の不具合が生じた場合は、ただちに交換してください。

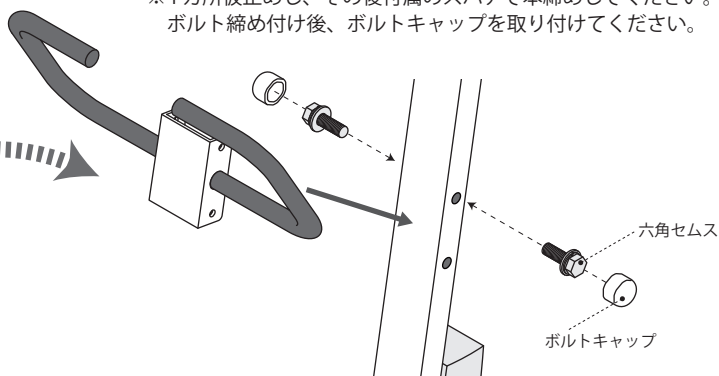
アジャスターゴム、脚部キャップ及びキャスターの樹脂等によって、床材と床の表面処理材（ワックス等）が化学反応を起こし、変色する恐れがあります。設置場所等には十分にご注意くださいますようお願いいたします。

組立方法

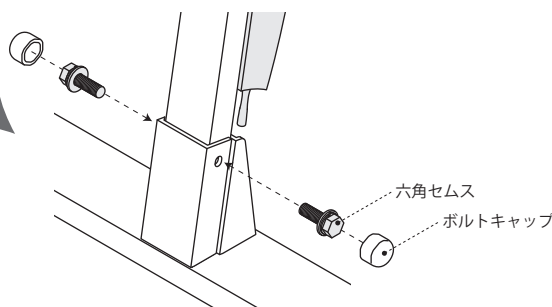
①下図のようにハンドル・支柱部分を組み立ててください。



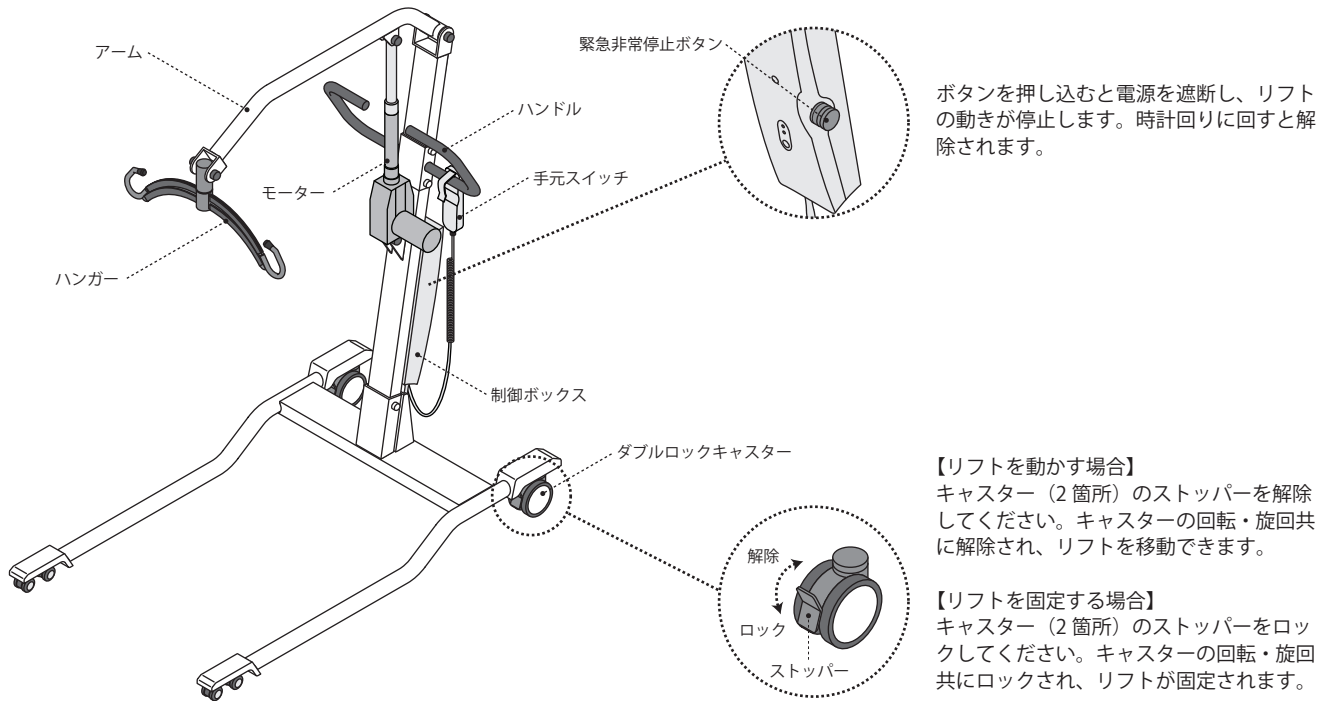
②下図のように六角セムスでハンドルを固定してください。
※4カ所仮止めし、その後付属のスパナで本締めしてください。
ボルト締め付け後、ボルトキャップを取り付けてください。



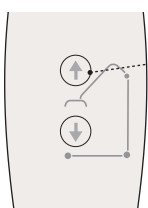
③下図のように六角セムスで支柱部分を固定してください。
※2カ所仮止めし、その後付属のスパナで本締めしてください。
ボルト締め付け後、ボルトキャップを取り付けてください。



各部の名称及び使用方法



手元スイッチの操作方法

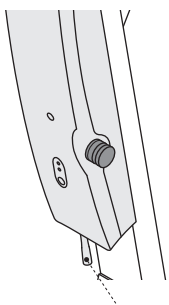


↑: 上昇 ↓: 下降
押し続けている間作動し、離すと停止します。

【使用上のご注意】

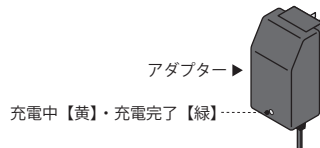
リフト可動部分に手足を挟まれる危険性があります。まわりの人の身体や手足、障害物が無いか十分注意してください。何かに引っかかった状態で操作すると、けがや破損の恐れがあります。

制御ボックスの充電方法及びモーターの仕様



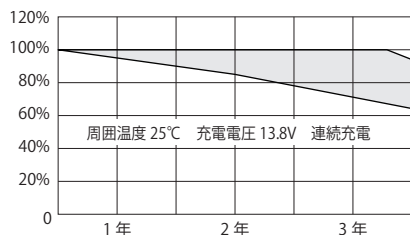
【制御ボックスの充電方法】

アダプターのコネクタを左図の位置に差し込んでください。アダプターのコンセント差込プラグをコンセントに差し込んでください。
※まっすぐ挿入し、しっかり差し込んでください。



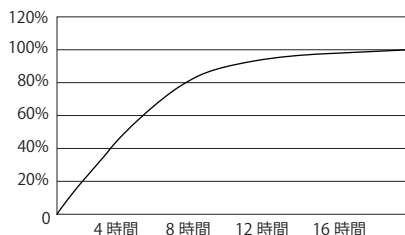
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力（6000N 負荷時）	MAX：250VA
昇降速度（100kg 荷重時）	上昇：約 40 秒 下降：約 30 秒
最大耐荷重	150kg
手元スイッチコードの長さ	1m
アダプターコードの長さ	2m

バックアップ用バッテリーについて



【バッテリーの寿命について】

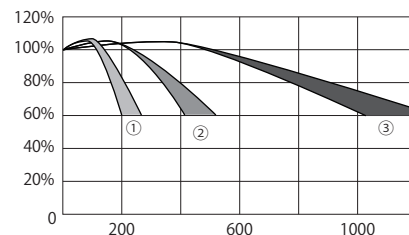
上のグラフは常温（25°C）にて常に充電しバッテリーを使用しない状態（コントロールボックスに接続し、コンセントの電源で使用）でのバッテリー寿命を示します。バッテリーを使用しない状態であっても容量は徐々に減少し、3年経過時には70%～100%の範囲となります。



【充電に関する情報】

理論的にはバッテリー容量がほとんどない状態からの充電で、バッテリー容量の約80%に達するには約6～9時間かかります。弊社では満充電にするために14時間の充電を推奨しております。満充電にする事で、バッテリーが早く減ることを防ぎます。バッテリーの特性は、内蔵・外付け共に同一です。

CBJH型コントロールボックスの低電圧警報は約18Vで鳴ります。警報が鳴りましたら直ぐに充電してください。バッテリーの寿命を伸ばす為に、警報が鳴らないうちに充電（チャージャをコンセントに接続）し、バッテリーが常に満充電になるように努めてください。



【バッテリーの取扱について】

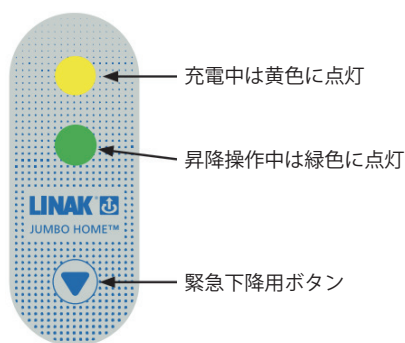
CBJH型コントロールボックスには密封式鉛蓄電池が使われております。バッテリー放電量（昇降回数）とバッテリー寿命の関係は以下のようになります。

- ①完全に使い切ってから充電をする使い方の場合
バッテリー寿命は約180回
- ②半分程度使ってから充電をする使い方の場合
バッテリー寿命は約400回
- ③30%程度使ってから充電をする使い方の場合
バッテリー寿命は約1,100回

※負荷電流が大きい場合は、バッテリー寿命は上記充放電回数よりも少なくなります。



- 本体のLEDランプにて状態が表示されます。



- バッテリー電圧低下時にブザーによる警報を発報します。
バッテリー電圧低下時には、手元スイッチ操作時にブザーが鳴動します。ブザー鳴動時は速やかにチャージャを接続し、充電してください。（※充電中は昇降動作は使用出来ないように制御されます。）

- 未使用状態での保管中も定期的な補充充電が必要です。
鉛蓄電池は保管中も自己放電によって、徐々にその容量は失われますので、以下保管温度と間隔を目安に充電してください。

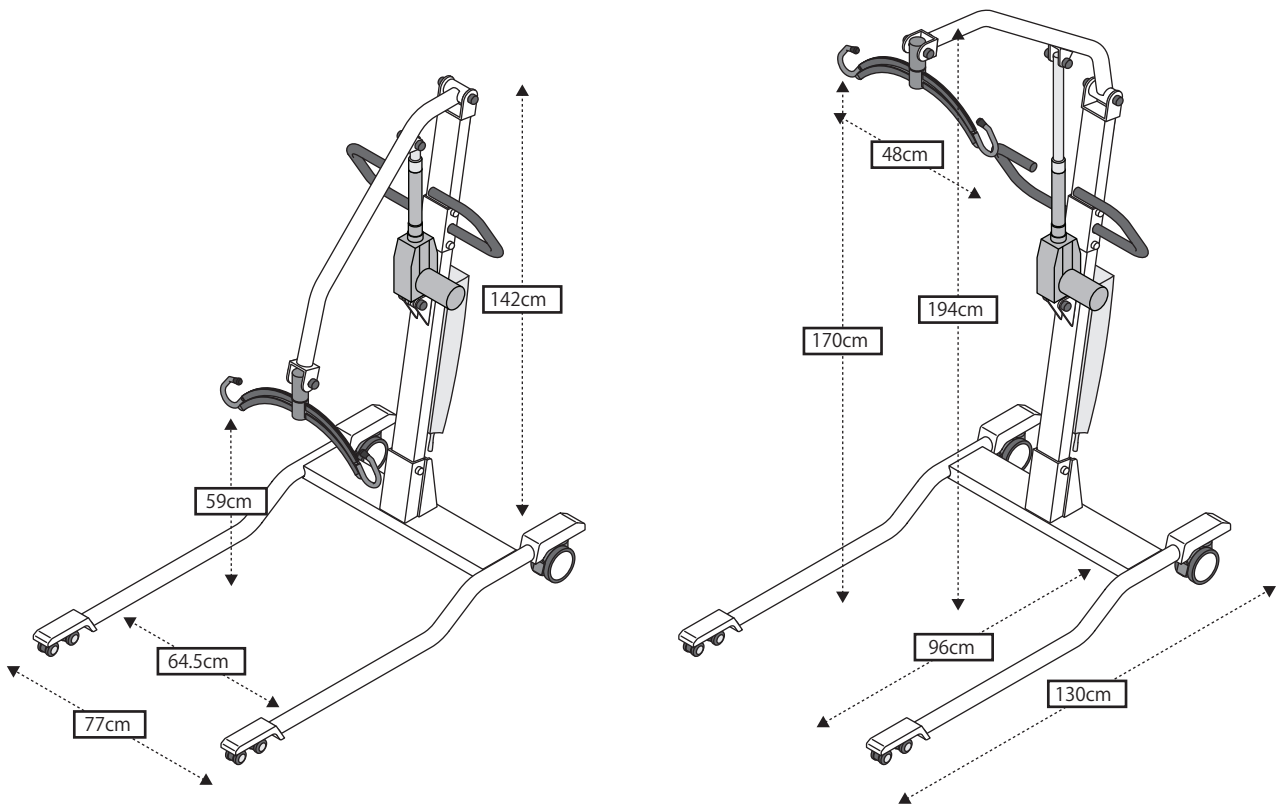
保管温度	間隔
20°C未満	9ヶ月毎
20°C～30°C	6ヶ月毎
30°C～40°C	3ヶ月毎

修理を依頼する前に

●「故障かな？」と考える前に次の点をお調べください。

症状	ここをお調べください	処 置
手元スイッチを押してもアームが動かない	制御ボックスの残量が少なくなっていないですか？	充電をしてください。
	緊急非常停止ボタンが押し込まれていませんか？	緊急非常停止ボタンを時計回りに回して解除してください。
	手元スイッチのコネクターが外れていませんか？	コネクターを差し込んでください。
	手元スイッチが断線していませんか？	手元スイッチの交換が必要です。
制御ボックスの充電ができない	充電用ACアダプタがしっかりと接続されていますか？	制御ボックス側、コンセント側、共にしっかりと接続してください。
	制御ボックスが寿命になっていませんか？	制御ボックスを交換してください。
モーターの異常音・振動がする	使用を中止して、取扱店、または当社にご連絡ください。	
ゆるみ・がたつきがある	使用を中止して、取扱店、または当社にご連絡ください。	
リフトの移動ができない	ダブルロックキャスターのストッパーがロックされていませんか？	ストッパーのロックを解除してください。

製品寸法



株式会社 高田ベッド製作所

〒590-0535 大阪府泉南市りんくう南浜2番地27

TEL. 072-484-8800 (代)

URL <http://www.takada-bed.co.jp/>

お客様相談室：フリーダイヤル 0120-62-2382